



Phiphi Island



観光客を飽きさせない様々な魅力。

タイには美しい大自然（山・海）、仏教寺院、クメール遺跡などがあります。本報告書では観光地を紹介します。

1. 自然



Kho Kood のヤシの木

・まだ観光客の少ない小さな島”Kood Island”（クッド島）。カンボジアの隣、Trat（タラート）県にある。アクティビティも整備されておらず、静かに過ごすには最適な島。

からの眺め。お寺の敷地内に展望台がありラオスが見下ろせる。



山中の村



Nong Khai から見るメコン川

・Nong Khai（ノンカイ）県にある”Wat Pha Tak Suea”



Kariang（首長族）

Chiang mai（チェンマイ）県は北部に属しており日本のように山々が連なる。観光地として有名であり、市内から車で1時間ほど行くと Kariang（首長族）に会うことができる村がある。

2. 宗教施設



お寺と展示物

・2枚目の写真は、獣のように傍若無人に振舞う者もいれば、人間のような高貴な動物もいる事を表す。



池に浮かぶお寺



前項記載の“Wat Pha Tak Suea”

・地域によって作りが異なる。北部はラオスの影響を受けている。



クメール遺跡”Prasat Muang Tam”

・東北地方にはカンボジアの影響によりクメール遺跡が点在する。



ピンクのガネーシャ”Wat Saman”



人々は得を積むために仏像に金箔を貼る



中華様式のお寺(廟)

・華僑があちこちにおり、各県に廟が見られる。街を歩けば中華系の飾りが見られ、華僑の影響が大きいことが分かる。

3.その他



・Surin 県へ行くと「象の家」と呼ばれる施設がある。そこでは象のショーが行われる。他、観光地には象のトレッキングなど触れ合う遊びができる。稀に街中に象が現れる（写真 3 枚目）が違法である。



・4月に新年を迎える”Songkran”。3日間、一日中水を掛け合ってお祝いする。各地でイベントが目白押し。



・Bangkok には多数の Roof top bar がある。日本では味わうことができない開放感を是非。



・最も人気のスポーツはサッカーだ。チームの中でも”Buriram United”は大人気。Buriram 県まで行けばスタジアムの見学が可能。選手が利用するロッカーやお風呂、記者会見場まで入ることができる。観戦料は約 200 THB。

筆者：石原 輝



前回の投稿から 1 年、特に代わり映えない生活が続いていたためお知らせが途絶えていました。今回はタイ産業の要である観光です。本稿をご覧ください興味を持っていただければ幸いです。活動の方は 2017 年 4 月、タイ生活が残り 1 年となった所で同期隊員とメカトロニクス研修を開催しました。内容は自立走行するロボットを自作する事を目標に、電気電子回路およびプログラミングを学ぶ。参加者はタイ国内のボランティアおよびパートナー、同様にスリランカ、モンゴル、マレーシア、ブータンと 5 か国 50 名。3 日半と短い間だったためロボットを完成させた人は数名でしたが、自ら「物」にする良いトレーニングになったと考えます。



左上から時計回りに 1「例題作成」、2「ロボットの組み立て作業」、3「ロボットの試走」、4「全体の集合写真。下段右から 6 人目筆者、右隣が JICA タイ所長」、5「ボランティアがパートナーを手伝う所」